

1. 件名:川内原子力発電所運転期間延長認可申請(1、2号炉の運転の期間の延長)及び保安規定変更認可申請(1、2号炉の高経年化技術評価等)に関する事業者ヒアリング

2. 日時:令和5年5月16日(火) 10時00分~10時50分

3. 場所:原子力規制庁 9階A会議室(※一部TV会議システムによる出席)

4. 出席者:

原子力規制庁

原子力規制部審査グループ

実用炉審査部門

雨夜上席安全審査官、藤川安全審査官、日高安全審査専門職、鈴木技術参与  
長官官房技術基盤グループ

システム安全研究部門

水田技術研究調査官、河野技術参与

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力建設部長 他13名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料:

- ・資料-1-1 川内原子力発電所1、2号炉 劣化状況評価(低サイクル疲労)
- ・資料-1-2 川内原子力発電所1、2号炉 運転期間延長認可申請に係るヒアリング コメント  
反映整理表<低サイクル疲労>
- ・資料-2-1 川内原子力発電所1、2号炉 劣化状況評価(2相ステンレス鋼の熱時効)
- ・資料-2-2 川内原子力発電所1、2号炉 運転期間延長認可申請に係るヒアリング コメント  
反映整理表<熱時効>

以上

| 時間      | 自動文字起こし結果   |
|---------|---|
| 0:00:00 | 原子力規制庁の藤川です。それでは川内原子力発電所 12 号炉、運転延長認可に関するヒアリングを開始します。   |
| 0:00:09 | 九州電力の方から資料について説明をお願いします。  |
| 0:00:15 | はい。九州電力の西田です。まずは低サイクル疲労についてのコメント回答をさせていただければと思います。前回ご説明させていただきまして、                                  |
| 0:00:28 | そのパワポ資料にですねコメントいただきましたところにつきまして、今回はご回答をさせていただければと考えてございます。  |
| 0:00:38 | では事前にご提出させていただいて、低サイクル疲労の方の、の方でそちらをもとにですねコメント回答をコメント反映整理表で記載しております。                                 |
| 0:00:52 | コメントが順次登場してきますのでそこをメインにご説明させていただきます。  |
| 0:00:57 | まずですね   |
| 0:00:59 | A4、右肩 4 ページ、評価対象及び評価手法の、  |
| 0:01:04 | についてというところになり、なるんですけれども、こちらがコメント反映整理表で言いますとナンバー6 になります。   |
| 0:01:14 | 前回のヒアリング代表機器及び代表の代表機器の使い分けを、整理修正することと、  |
| 0:01:25 | いうのを含めていただいておりますので、こちらの方を赤字で記載しておりますが、グループ内代表機器の記載をちょっと削除しております、材料費のみの記載に修正してございます。                 |
| 0:01:37 | No.6 については以上になります。続きましてページめくっていただいて 5 ページになります。こちらの 2 件コメントいただいております、まず一つ目がコメント No. 1、              |
| 0:01:51 | 5 ポツ、代表機器の技術評価に記載されている適用基準については、4 ポツの 4 ポツ 2 の評価手法の中に、最初ではどうかというコメントをいただいております。                     |
| 0:02:02 | ですので、4 ポツ 2-(2)としまして、適用規格基準をこちらの方に反映してございます。続いて関連しましてですね、ナンバー2 のコメントになるんですけれども、                     |
| 0:02:15 | 御説明への 2012 年版ですね、こちらどの機器に適用しているか確認することというコメントをいただいております。こちらで済ます再度確認した結果ですね、2012 を適用した機器はなかったということで、 |
| 0:02:30 | 今回削除させていただいております。   |
| 0:02:38 | 続きまして、ページめくっていただいて、6 ページになります。こちらがですね、  |
| 0:02:46 | ナンバー7 のコメントになるんですけれども、  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:02:50 | 原子炉容器評価対象部位Eにつきまして、図表にトランジションリングというものが、を追記させていただいております。   |
| 0:03:01 | こちらがですね補足説明資料の方も同様に追記をしてございます。  |
| 0:03:07 | 続きまして、  |
| 0:03:10 | 2 ページめくっていただきまして、14 ページになります。14 ページなんですけれどもこちら 2 件、東 3 件いただいております、                                |
| 0:03:22 | まず、ナンバー3 のコメントになるんですけれども、蓋関連についても取りかえを実施しているため、コミュニティを追記することとコメントいただいておりますので、この表 1、評価結果一覧というところで、 |
| 0:03:35 | 蓋間連続期間第 2 コミュニティを追記してございます。   |
| 0:03:41 | 続いてがですね、  |
| 0:03:45 | ナンバー7 のコメントになるんですけど、こちらも先ほどと同様にトランジションリングの記載を追記させていただいております。                                      |
| 0:03:56 | 続いてナンバー8 のコメントをいただいております、記載の疲労累積係数の値が 60 年時点の評価結果である旨を明記することと、                                    |
| 0:04:07 | いただいておりますので、表 1 の一番上のところに 60 年時点の疲労累積係数と、60 年時点のというのを設定させていただいております。                              |
| 0:04:19 | 続いて補足説明資料のコメント回答になるんですけれども、補足説明資料で、ナンバー4 のコメントになります。ナンバー4 の方で表の数字が不鮮明であるため鮮明なものに修正することといただいております。 |
| 0:04:33 | こちらですね確認させていただいた結果、7 の 91 ページでご指摘いただいたんですけれども他のものも、ちょっと不明と思われる箇所がありますのでそこもあわせて、                   |
| 0:04:46 | 7-91 から 7 に 9030 補足説明資料を修正してございます。こちら確認した結果の 1 号のみ、不鮮明ということだったので 1 号炉のみの修正とさせていただきます。             |
| 0:05:01 | 続きましてはコメント反映整理表についてのコメント回答とさせていただきます。こちらのパワポ資料でいきますと 24 ページ、25 ページに、                              |
| 0:05:13 | いただいております。  |
| 0:05:15 | 60 年時点の推定過渡回数のうち、過渡回数、ハード項目ナンバー17 について、30 年目から 40 年目で 2 号炉は増えて、                                   |
| 0:05:27 | 1 号炉が減っている理由を確認することとコメントいただいております。その回答としまして、コメント反映整理用のコメント対応という枠に記載させていただいております。                  |
| 0:05:40 | こちらの説明させていただきますと、まず年平均過渡回数なんですけれども、こちらが 30 年時点が 0.1 回から 0.07 回 40 年時点において、0.07 回に減少してございます。       |
| 0:05:56 | と、それと 60 年まで残りの年数、なんですけれども 30 年時点においては 36.3 と。  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:06:05 | それから 40 年時点においては 24.3 に減少したことによって今後の想定回数が、30 年が 4 回、                                   |
| 0:06:14 | 40 年が 3 回に減ってございます。  |
| 0:06:18 | それによって 40 年の方が過渡回数が少なくなっているという状況になっております。一応※以降でも詳細に記載してございまして、まず                       |
| 0:06:30 | 40 年ではですね 1.5 倍という裕度を設けてございます。この 1.5 倍を設けることを設けておりますので、過度の保守性を除くよということで 0.07 回と。       |
| 0:06:44 | いうふうな丸め方に変更してございます。一方ですね 30 年の方では、他で 1.5 という余裕資料取ってなかったことから小数点以下第 1 を切り上げる手法としてございました。 |
| 0:06:58 | これによってこのカトウ項目、No.17 については 1 号炉は減っているという状況になってございます。以上が低サイクル疲労についてのコメント回答になります。         |
| 0:07:17 | 規制庁、   |
| 0:07:19 | すみません、規制庁藤川です。説明ありがとうございますそれでは、質問コメントありましたらお願いします。                                     |
| 0:07:57 | 規制庁の高野です。  |
| 0:07:59 | 今、ご説明ありがとうございました。  |
| 0:08:04 | すみません。これなんだろう。   |
| 0:08:08 | コメント反映整理表。   |
| 0:08:10 | 最後にご説明いただいた、5 番目の、   |
| 0:08:13 | ところなんですけれど、  |
| 0:08:15 | このご回答を、補足説明資料の方に記載していただくことはできますでしょうか。  |
| 0:08:30 | はい。九州電力の西田です。はい。補足説明資料の別紙に記載させていただければと思っておりますが、  |
| 0:08:37 | よろしいでしょうか。   |
| 0:08:39 | はい、了解しましたよろしく願いいたします。  |
| 0:08:42 | はい承知いたしました。では補足説明資料の方に反映したいと思いません。   |
| 0:08:47 | それとですねすみません、またちょっと繰り返して前回もお聞きしたんですけれど、パワポの 7 ページの不等号の件なんですけれど、                         |
| 0:08:59 | すみません何より、小さくなるという、   |
| 0:09:05 | 東郷の頭の方は何を利かしているのかというのを、すみませんもう一度ご説明いただけますでしょうか。  |
| 0:09:17 | はい。九州電力の西田です。こちらの不等号なんですけれども、ですね 60 年時点の過渡回数が、実際、とですね                                  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:09:27 | 統合以降の実績過渡回数多数余裕登山年数というものを記載しているんですけども、                                  |
| 0:09:33 | 60年時点の過渡回数とその計算上よりも必ず大きくなるようにということで不等号。                                 |
| 0:09:40 | こういうふうに記載させていただいております。  |
| 0:09:45 | 規制庁河野です。そうしますと、その一つ上に式がありますよね。60年時点過渡回数イコールとなっている。                      |
| 0:09:57 | その60年時点、過渡回数というのが、この不等号の頭に、えっとは違うということ、                                 |
| 0:10:05 | ですか。  |
| 0:10:12 | 九州電力の西田町長お持ちいただいてよろしいでしょうか。   |
| 0:11:12 | 九州電力の西田です。すいませんこの不等号の $\geq$ 以降の実績過渡回数多数の以降のですね、括弧で実績過渡回数に基づく1年間当たりの    |
| 0:11:25 | 平均カトウ回数×余裕×残念数という部分は、1行目の60年時点過渡回数=の                                    |
| 0:11:35 | その推定過渡回数の方を、詳細にご説明した内容になってございます。なので、すいませんこちらから修正案なんですけれども、              |
| 0:11:47 | 60年時点過渡回数=のところを、もう2行目の実績過渡回数+実績稼働回数に基づくというような、                          |
| 0:11:57 | もう一行にする形に修正をしようと思っておりますが、そういった修正する方向で、                                  |
| 0:12:05 | よろしいでしょうか。  |
| 0:12:13 | 規制庁河野です。60年時点過渡回数というのが、今植野式で書かれてる東郷の式で書かれている。                           |
| 0:12:26 | 今までの実績過渡回数と、今後、今ご説明いただいた(2)、裕度と残年数かけたものを、                               |
| 0:12:36 | を足して、   |
| 0:12:38 | ということで、   |
| 0:12:40 | 裕度をかけてるからどう、どう、どうしてもかけ裕度かけてる方が大きくなるという認識にはなるんですけど。                      |
| 0:12:51 | それではない、ないないんでしょうか。  |
| 0:12:55 | ちょっと、ちょっと。  |
| 0:12:57 | 60年時点過渡回数が大きくなるんですというのが、  |
| 0:13:03 | どうもちょっと、  |
| 0:13:04 | 理解がうまくいかないんです。  |
| 0:13:12 | 九州電力の西田です。少々お待ちいただけますでしょうか。   |
| 0:16:36 | 九州電力の西田です。こちらの不等号なんですけれども、今日はですねコメント反映整理表の方でもご説明させていただきました40年時点の評価における、 |

|         |   |
|---------|---|
| 0:16:49 | 推定値の計算過程というものがございまして、こちらの方でもですね一応回数を算出するにあたっては、切り調整低下を切り上げるという形を、               |
| 0:17:01 | をとってございます。ですのでこの不等号は必ずですね 60 年時点の過渡回数が大きいということになりますので、こちらの方がこのままで、              |
| 0:17:14 | このままとさせていただければと思っておりますが、どうでしょうか。  |
| 0:17:33 | 規制庁高野です。すいません。  |
| 0:17:36 | いや、何がちょっとよくわかんないかと申しますと 60 年時点、過渡回数。  |
| 0:17:43 | というのの定義が、   |
| 0:17:46 | は   |
| 0:17:52 | その不等号の書かれている植野スズキ。  |
| 0:17:56 | 示してるのが、60 年。  |
| 0:17:59 | 時点かとか数というのの定義という理解でよろしいでしょうか。   |
| 0:18:09 | そうすると、  |
| 0:18:10 | それでも 60 年時点かとか数というのの推定の過渡回数なのか、60 年時点における実際の過渡回数なのか。                            |
| 0:18:22 | そこに原因がちょっとわからない。  |
| 0:18:25 | ところがありますので、   |
| 0:18:29 | 60 年後に実際にカウントしたら幾つですというのが、60 年時点のカトウ回数なのか、要はちょっと定義を明確にさせていただければよろしいかなと思います。     |
| 0:18:42 | はい九州電力の西田です。こちらで記載している 60 年時点カトウ回数というものは、60 年、運転開始後 60 年時点の推定値の過渡回数になってございますので、 |
| 0:18:55 | そちらの方を明記させていただくということで、をさせていただければと思っております。                                       |
| 0:19:02 | 規制庁フジカワですいません。  |
| 0:19:04 | ちなみに不等号はいるんですかね、なんか。  |
| 0:19:07 | 続いてそもそも 60 年時点過渡回数っていうのはその 60 年時点の過渡回数を推定したもの。                                  |
| 0:19:15 | それは何かっていうと今までの実績過渡回数＋推定過渡回数、そこに当然今、今後の運転やってないから推定が含まれるから、60 年時点過渡回数は当然、         |
| 0:19:28 | 推定の開始になりますと。  |
| 0:19:31 | これ不等号じゃなくて単純に推定過渡回数っていうのはこの実績過渡回数に基づく 1 年間当たりの平均過渡回数掛ける余裕かける残年数です。              |
| 0:19:44 | ていうだけなので何か、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:19:47 | 言うと、  |
| 0:19:53 | いや、だから、何だろう。  |
| 0:19:57 | 不等号要りますかこの式って思うんですけど、そもそも、  |
| 0:20:07 | そうです。   |
| 0:20:41 | 九州電力の西田氏、すいません少々お待ちください。  |
| 0:22:32 | 九州電力の西田です。すいません先ほどご指摘いただきました件なんですけれども、ちょっとアノフジカワ審査官からのコメントをいただきました不等号の見直しの件も含めてですね再度こちらで検討させていただければと思いますが、それでよろしかったでしょうか。 |
| 0:22:55 | 規制庁フジカワちょっとだけ待ってください。   |
| 0:24:55 | 規制庁フジカワですみませんとりあえず説明ともう1回ちょっと確認ですけど、  |
| 0:25:02 | ついてと実数、60年時点過渡回数＝実績過渡回数＋推定推定過渡回数。   |
| 0:25:12 | これで大なり小、  |
| 0:25:16 | これこの数実績過渡回数から水滴カトウ推定過渡回数に対して $\geq$ 実績過渡回数プラス、  |
| 0:25:24 | 過去実績過渡回数に基づく1年間当たりの平均過渡回数括弧閉じかけ余裕掛け算年数。   |
| 0:25:30 | で繋がってるってそういうこといいですか。  |
| 0:25:37 | 九州電力の西田です。はい、そのようなご認識いただければと思います。   |
| 0:25:45 | その推定過渡回数はだから、この実績過渡回数に基づくニヤガで掛ける余裕掛け算年数っていうので表数点とか出てきたやつを丸めて、切り上げた数だから、   |
| 0:25:58 | この $\geq$ になるとそういうこと。   |
| 0:26:01 | ですか。  |
| 0:26:03 | 九州電力の西田です。そのようなご認識で問題ございません。やっとわかりましたすみませんありがとうございます。   |
| 0:26:09 | じゃあ、  |
| 0:26:52 | それじゃ、すいません規制庁フジカワで水の話推定過渡回数の定義とか出し方とかそういうのを追記いただけますか。   |
| 0:27:05 | うん売り上げるってところ。   |
| 0:27:09 | わかりましたはいそちらのほうを追記させていただければと思います。はい。すいませんお願いします。   |
| 0:27:30 | 規制庁前です。   |
| 0:27:35 | 規制庁前野聞こえますか。  |
| 0:27:39 | 九州電力の西田です。はい。聞こえてございます。ちょっと読んで  |
| 0:27:44 | 小さな話なんですけど23ページでちょっと確認だけさせてください。  |

|         |   |
|---------|---|
| 0:27:53 | で、  |
| 0:27:54 | 23 ページのところで、真ん中あたりに、  |
| 0:27:58 | 括弧P8 参照って書いた横のところなんですけどもこれ推定されるって書いてるんですけども、                                      |
| 0:28:06 | 30 年目の評価には評価しなかったよ 40 年目と不況下においては、評価したためであるとかって、推定ではなくて、                          |
| 0:28:16 | 明確な表明とか、デッキ、  |
| 0:28:20 | ないのかなって思ったんですが、   |
| 0:28:23 | これやっぱ推定とかっていうことが必要な状況なんでしょうか。   |
| 0:28:40 | アメリカで九州電力のニシダで少々お待ちください。  |
| 0:29:00 | 九州電力の西田です。すいませんこちらの語尾なんですけれども、考慮したためであるというふうに記載を修正させていただければと思います。そちらでよろしかったでしょうか。 |
| 0:29:13 | そちらでご検討されてそう書かれるのであれば非常にクリアだなと思います。以上です。  |
| 0:29:19 | はい。ありがとうございますじゃ、ちょっとそのように修正させていただきます。   |
| 0:29:30 | 低サイクル疲労他、コメントないですかね。  |
| 0:29:34 | はい。   |
| 0:29:36 | はい。低サイクル疲労は以上で、   |
| 0:29:38 | イトウズキで熱時効の方をお願いいたします。   |
| 0:29:49 | はい。九州電力の福山でございます。それでは熱時効についてのご説明をさせていただきます。                                       |
| 0:29:56 | 馬頭熱時効につきましても、コメントを前回のコメント、ヒアリングの中でいただきましたコメントに対するご回答をまずさせていただければと思います。            |
| 0:30:07 | コメント反映整理表のうち、5 番からが今回のご説明の内容となっております。   |
| 0:30:14 | 5 番と 6 番が、いずれの修正につきましても、パワーポイントの修正となっておりますので、本当の使用方法についてご説明をいたします。                |
| 0:30:24 | 5 番と 6 番が同じページになりますので、続けてご説明をさせていただきますが、5 番については、岡井評価による健全性評価について、                |
| 0:30:35 | 説明資料に合わせて、安心の物を提起することというコメントでございました。6 番については、代表会による健全性評価結果について、                   |
| 0:30:45 | 補足説明資料に合わせて、グラフの説明を追記することというコメントをいただいております。スライドについてはまず 11 ページをお願いいたします。           |
| 0:30:55 | 11 ページは、1 号炉の評価結果になりますけども、いずれの打ち合わせにつきましても、JワンCのプロットをまず提起しております。                  |



|         |   |
|---------|---|
| 0:31:06 | また破壊評価の健全性評価の内容を、石垣で提供しております。提起している内容につきましては、評価の結果、亀裂進展抵抗が亀裂進展力と交差し、                      |
| 0:31:19 | 亀裂進展抵抗が亀裂進展力を上回ること、及び亀裂進展抵抗等、亀裂進展力の法定法典で亀裂進展、   |
| 0:31:29 | 抵抗の傾きが、ページ電力の方目標を回ることから、安定破壊することはない、そういった評価の内容を追求し、いたしております。                              |
| 0:31:40 | 続きまして、コメントの 7 番になります。こちらはスライドの 10 ページになります。   |
| 0:31:47 | いただいておりますコメントの内容については、き裂安定性評価等、文言の統一ができておりませんでしたので、                                       |
| 0:31:57 | 統一すること。   |
| 0:31:59 | また申請書でそういった文言を使用している場合には申請書の文言を、基本的には数、使用するよといった旨のごコメントをいただいております。                        |
| 0:32:09 | で、10 ページに記載しております通り、  |
| 0:32:13 | 従前は亀裂添亀裂安定性評価といった文言もついておりました。審査ガイドの中に記載をされております文言に合わせる形で、亀裂不安定性評価という文言で統一をするということにしております。 |
| 0:32:29 | また申請書の中には本文言を使っている箇所は後ございませんでしたので、申請書の修正はないということになってございます。                                |
| 0:32:37 | 私からの説明は以上となります。   |
| 0:32:43 | 規制庁フジカワです説明ありがとうございますそれでは質問コメント等ありましたらお願いします。   |
| 0:32:55 | 原子力規制庁の水田ですご説明ありがとうございました。  |
| 0:33:04 | は、音声聞こえてますでしょうか。  |
| 0:33:07 | はい、聞こえてございます。ご説明ありがとうございます  |
| 0:33:13 | k II の  |
| 0:33:15 | 12 ページとか、11 ページとか記載いただきありがとうございます。  |
| 0:33:20 | この全体のヒアリングで   |
| 0:33:25 | 14 ページのところ、30 年目と 40 年目の評価部位で、その 2 号イのところ行った。   |
| 0:33:32 | ちゅ蓄圧タンク注入管台   |
| 0:33:34 | 40 年目ではなくなってるってところの理由は何かその取替えで変わったっていうふうなご説明をいただいたと思うんですけどやっぱその、そこに 30 年目 40 年目その御説明、     |
| 0:33:45 | パワポの方にも記載いただいた方がその  |
| 0:33:48 | 説明としてはいいのじゃないかなというふうに考えてるんですがいかがでしょうか。  |

|         |  |
|---------|--|
| 0:34:00 | 九州電力の福山でございます。承知しました   |
| 0:34:03 | 応力最大の箇所が、30年、40年目で変更になっておりますので、理由について、   |
| 0:34:10 | ちょっと追記をいたします。以上です。規制庁ミズタそうですよねそういうふうな力変わった理由っていうのが   |
| 0:34:18 | 評価部位の選定にも関わってると思うのでそういった説明を記載いただければと思います。  |
| 0:34:24 | この議論について検討いたします。   |
| 0:34:32 | 以上です。よろしくお願いいたしますと、前回の、  |
| 0:34:37 | ヒアリングの中で補足説明資料のところエルボのところの曲がり部の、   |
| 0:34:44 | 形状を考慮したときの計算方法。  |
| 0:34:47 | ていうところを、次回説明していただくということだった。  |
| 0:34:52 | 今回その資料っていうか、該当はないんですけど今検討中という意味でしょうか。  |
| 0:35:23 | 九州電力の福山でございます。   |
| 0:35:26 | 本日の説明資料の中に入れておりませんが、コメント回答資料の4番のところ、エルボ能力についての算出方法を示すことといったこと。                                 |
| 0:35:38 | おめくりいただきまして、   |
| 0:35:46 | 申し訳ございません。ひとつお待ちいただいてもよろしいでしょうか。   |
| 0:38:14 | 九州電力の福山でございます。3月の6日のヒアリングの中で、衛藤先ほど申しあげましたコメントNo.の4番に対する回答という形で、                                |
| 0:38:26 | N5部の応力の算出方法については   |
| 0:38:30 | お出しをさせていただいてるんですけども、   |
| 0:38:32 | それ以外で  |
| 0:38:35 | 提示したほうがよろしい情報があるということであれば、ご準備させていただきますが、その点ご教示いただけますでしょうか。                                     |
| 0:38:45 | 規制庁の水田ですこの表4のところは  |
| 0:38:49 | 部位の選定上を選定する際にエルボ部のところを直感でまず計算しました。   |
| 0:38:55 | その後に、  |
| 0:38:58 | 亀裂のその安定性評価する際にはエルボ部のさらに曲がり部の、  |
| 0:39:04 | 曲がった部分の形状を考慮したとき、考慮した方が暴力は高くなりますっていうそれをそのうちの後半の安定性評価ではその考慮して計算していますっていうことだったので、その計算方法を示してください。 |
| 0:39:18 | 意味で前回質問  |
| 0:39:20 | まして、   |
| 0:39:20 | 例えば九州電力さん、   |

|         |   |
|---------|---|
| 0:39:23 | 玄海 3 号の   |
| 0:39:25 | 移送ステンレスはその、   |
| 0:39:27 | 似たような   |
| 0:39:29 | ところを見ますとそこは、  |
| 0:39:38 | 曲がり部。   |
| 0:39:41 | 緒についてアノン。   |
| 0:39:44 | 例えばどういう式を使いましたっていうところの説明が、玄海の 3 号ではあるのだからをちょっと参考にさせていただいてちょっと。              |
| 0:39:52 | だければと思う。  |
| 0:39:58 | 九州電力の布施フクヤマでございます。失礼いたしましたのご趣旨は理解できましたので、その旨を、ちょっと次、次回以降でご説明させていただければと思います。 |
| 0:40:12 | 規制庁の水田ですよろしく願いいたします。これは草野。  |
| 0:40:16 | 先生がちょっと、  |
| 0:40:19 | あともう 1 点補足のところなんですけれどもき裂の安定性評価とか H3T モデルで                                   |
| 0:40:27 | Jmatとかでアプライというふうなところを提案されてると思うんですけれども、こちら、                                  |
| 0:40:34 | 可能であればこちらでもその計算の確認等をして、その H3T モデルに使うとそのパラメータだとかって計算に使ってる。                   |
| 0:40:42 | パラメーター等をその補足等にですね。  |
| 0:40:45 | 載せていただくことっていうのは可能でしょうか。   |
| 0:40:56 | 九州電力の小山です。東ソーお待ちいただいてよろしいでしょうか。   |
| 0:41:00 | はい承知しました。   |
| 0:41:29 | 九州電力の福山でございます。H3T モデルを用いまして計算の過程につきましては、電共研の                                |
| 0:41:39 | 計算式を用いて計算をしているんですけども、公開の可否等のちょっと確認も必要となりますので、そういったあたりの確認をさせさせていただいた上で、      |
| 0:41:50 | 追求する内容を検討させていただきたいと思うんですけれども、それでよろしいでしょうか。                                  |
| 0:41:56 | 規制庁の水田ですこちらでお願いいたしますアノかを公開できる範囲と、   |
| 0:42:01 | 確認していただいてからで構いませんのでよろしくお願いいたし   |
| 0:42:09 | はい、承知いたしました。  |
| 0:42:11 | 規制庁フジカワですいませんそれはあれですかマスキングしても載せられないって感じなんですかね。                              |
| 0:42:28 | 九州電力の福山でございます。基本的には開示できると思ってございますけれども、一応、一旦確認をさせていただきたいといった趣旨でござ            |

|         |  |
|---------|--|
|         | います。規制庁藤川です。はい。議長そういうことであれば、承知しました。                            |
| 0:42:49 | 規制庁フジカワ他に何か質問、コメントありますか。                                       |
| 0:43:21 | 規制庁藤川です。はい。とりあえず、今回の熱時効に関しても、質問コメント以上です。                       |
| 0:43:28 | 適宜補足説明資料と、あと資料の方に修正、追加とお願いいたします。                               |
| 0:43:38 | 九州電力さんから何か確認等ありますか。  |
| 0:43:46 | はい 9 電のウエムラです 9 電の方から、特にございません。ありがとうございました。                    |
| 0:43:52 | はい。では本日のヒアリング以上で終了したいと思いますまた午後から衛藤コンクリートが耐震ありますけど、よろしく願いいたします。 |
| 0:44:01 | はい。こちらこそよろしく願いします。   |